

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第69期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	北野建設株式会社
【英訳名】	KITANO CONSTRUCTION CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
【本店の所在の場所】	長野県長野市県町524番地
【電話番号】	026(233)5111(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部経理部長 塚田 美一
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区銀座1丁目9番2号
【電話番号】	03(3562)2331(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部経理部長 塚田 美一
【縦覧に供する場所】	北野建設株式会社 東京本社 (東京都中央区銀座1丁目9番2号) 北野建設株式会社 大阪支店 (大阪市北区堂島1丁目2番5号 堂北ダイビル) 株式会社 東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第2四半期連結 累計期間	第69期 第2四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	26,674,378	30,397,246	61,758,631
経常利益(千円)	538,840	732,373	1,325,818
四半期(当期)純利益(千円)	294,067	422,607	575,601
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	190,795	663,937	1,035,590
純資産額(千円)	20,847,930	21,558,294	21,395,516
総資産額(千円)	51,694,545	54,443,635	53,704,050
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	4.49	6.79	9.00
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.3	38.8	39.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,954,970	2,847,110	2,364,989
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	185,696	1,057,294	101,930
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	352,750	1,294,250	1,449,940
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,730,959	5,886,486	6,404,480

回次	第68期 第2四半期連結 会計期間	第69期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.10	6.23

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の持ち直しを背景に全体的に緩やかな回復局面にあるとの見方がなされています。依然として世界経済を巡る動きは不確実性が大きいものの、国内需要は公共投資や住宅投資が引き続き増加傾向にあり、企業の設備投資も企業収益の改善に伴って増加基調を迎えることが予想されています。更に個人消費も雇用・所得環境の改善により底堅く推移することが期待されています。

当社グループが主に事業を展開している建設業界におきましても、前述の通り、公共投資や民間の住宅投資、企業の設備投資が増加傾向にあることから、受注環境の改善が見受けられる一方、原価面では引き続き、労務費の高騰、円安局面における原材料等の高騰が懸念され、予断を許さぬ状況が続いています。

かかる状況下におきまして、当社グループの当第2四半期連結累計期間における連結売上高は303億9千7百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。損益面につきましては、営業利益が6億1千万円（前年同四半期比37.5%増）、経常利益が7億3千2百万円（前年同四半期比35.9%増）、四半期純利益が4億2千3百万円（前年同四半期比43.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

建設事業	建設事業の業績につきましては、受注高410億2千2百万円、売上高292億4千3百万円、セグメント利益5億2千2百万円となりました。
ゴルフ場事業	ゴルフ場事業の業績につきましては、売上高1億6千3百万円、セグメント利益3千6百万円となりました。
ホテル事業	ホテル事業の業績につきましては、売上高3億1千万円、セグメント利益3千5百万円となりました。
広告代理店事業	広告代理店事業の業績につきましては、売上高7億1千1百万円、セグメント利益1千7百万円となりました。

#### (2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は前期末比5億1千8百万円減少し、58億8千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少28億4千7百万円（前年同四半期は19億5千5百万円の減少）の主な内訳は、仕入債務の減少により資金が57億5千1百万円減少し、未成工事受入金の増加により資金が36億3千3百万円増加したためです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加10億5千7百万円（前年同四半期は1億8千6百万円の減少）の主な内訳は、有形固定資産の売却により資金が13億1千8百万円増加したためです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加12億9千4百万円（前年同四半期は3億5千3百万円の増加）の主な内訳は、短期借入金の借入により資金が18億円増加し、配当金の支払いのため資金が4億9千6百万円減少したためです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、43百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,368,532	68,368,532	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	68,368,532	68,368,532	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	68,368,532	-	9,116,492	-	-

( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
北野管財合同会社	東京都品川区北品川6丁目6番15号	4,838	7.07
株式会社テル・コーポレーション	東京都渋谷区代々木4丁目42番19号	4,190	6.12
共栄火災海上保険株式会社	東京都港区新橋1丁目18番6号	3,166	4.63
株式会社八十二銀行	長野県長野市中御所字岡田178番地8号	3,064	4.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	3,063	4.48
株式会社松屋	東京都中央区銀座3丁目6番1号	1,365	1.99
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	1,276	1.86
浅井 輝彦	東京都目黒区	1,132	1.65
東映株式会社	東京都中央区銀座3丁目2番17号	1,117	1.63
北野建設従業員持株会	東京都中央区銀座1丁目9番2号	1,079	1.57
計	-	24,290	35.48

(注) 上記のほか、自己株式が5,985千株(8.75%)あります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 (自己保有株式) 5,985,000 普通株式 (相互保有株式) 255,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)(注)	普通株式 61,148,000	61,146	同上
単元未満株式	普通株式 980,532	-	-
発行済株式総数	68,368,532	-	-
総株主の議決権	-	61,146	-

(注) 完全議決権株式(その他)の中には、株主名簿上は当社名義になっていますが、実質的に所有していない株式2,000株が含まれています。これらによる議決権2個は議決権の個数の計算から除いています。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 北野建設株式会社	長野県長野市県町 524番地	5,985,000	-	5,985,000	8.75
(相互保有株式) 株式会社アサヒ エージェンシー	長野県長野市問御 所町1306番地1	255,000	-	255,000	0.37
計	-	6,240,000	-	6,240,000	9.12

(注) この他に株主名簿上は当社名義になっていますが、実質的に所有していない株数が2,000株(議決権2個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」に含まれていますが議決権の個数の計算から除いています。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けています。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,624,890	6,197,498
受取手形・完成工事未収入金等	13,618,592	15,656,443
販売用不動産	6,125,653	6,113,541
未成工事支出金	1,746,426	1,659,758
開発事業等支出金	3,191,866	2,498,367
その他のたな卸資産	<sup>1</sup> 54,869	<sup>1</sup> 53,308
繰延税金資産	1,277,605	1,153,964
その他	697,114	1,704,905
貸倒引当金	77,529	76,819
流動資産合計	33,259,486	34,960,965
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,304,787	6,786,787
その他	10,983,530	10,331,222
減価償却累計額	5,952,572	6,004,375
有形固定資産合計	12,335,745	11,113,634
無形固定資産	53,973	63,448
投資その他の資産		
投資有価証券	4,799,060	5,071,637
長期貸付金	2,532,768	2,812,534
繰延税金資産	455,886	431,377
その他	1,317,766	1,314,931
貸倒引当金	1,050,634	1,324,891
投資その他の資産合計	8,054,846	8,305,588
固定資産合計	20,444,564	19,482,670
資産合計	53,704,050	54,443,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,598,393	13,848,300
短期借入金	-	1,800,000
未払法人税等	483,040	47,500
未成工事受入金	3,018,902	6,651,934
引当金	572,659	354,302
その他	941,816	2,447,079
流動負債合計	24,614,810	25,149,115
固定負債		
長期借入金	4,000,000	4,000,000
退職給付引当金	501,155	458,445
会員預託金	2,897,300	2,826,350
繰延税金負債	67,966	250,427
その他	227,303	201,004
固定負債合計	7,693,724	7,736,226
負債合計	32,308,534	32,885,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,116,492	9,116,492
資本剰余金	5,066,238	5,066,246
利益剰余金	7,255,036	7,180,550
自己株式	1,263,693	1,265,388
株主資本合計	20,174,073	20,097,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	783,844	956,011
繰延ヘッジ損益	7,890	1,681
為替換算調整勘定	5,749	61,000
その他の包括利益累計額合計	797,483	1,015,330
少数株主持分	423,960	445,064
純資産合計	21,395,516	21,558,294
負債純資産合計	53,704,050	54,443,635

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	25,225,486	27,364,458
兼業事業売上高	1,448,892	3,032,788
売上高合計	26,674,378	30,397,246
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	23,613,034	25,766,565
兼業事業売上原価	831,458	2,206,521
売上原価合計	24,444,492	27,973,086
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	1,612,452	1,597,893
兼業事業総利益	617,434	826,267
売上総利益合計	2,229,886	2,424,160
<b>販売費及び一般管理費</b>	<sup>1</sup> 1,786,092	<sup>1</sup> 1,813,912
<b>営業利益</b>	443,794	610,248
<b>営業外収益</b>		
受取利息	50,234	36,000
受取配当金	39,530	46,937
持分法による投資利益	24,958	-
会員権引取差額	38,379	43,972
その他	17,086	50,954
営業外収益合計	170,187	177,863
<b>営業外費用</b>		
支払利息	64,072	51,735
為替差損	7,532	-
その他	3,537	4,003
営業外費用合計	75,141	55,738
<b>経常利益</b>	538,840	732,373
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	538	2,299
特別利益合計	538	2,299
<b>特別損失</b>		
投資有価証券評価損	4,556	20
固定資産売却損	-	9,803
その他	17	-
特別損失合計	4,573	9,823
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	534,805	724,849
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	144,247	36,952
<b>法人税等調整額</b>	71,800	242,037
<b>法人税等合計</b>	216,047	278,989
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	318,758	445,860
<b>少数株主利益</b>	24,691	23,253
<b>四半期純利益</b>	294,067	422,607

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	318,758	445,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	144,656	172,397
繰延ヘッジ損益	11,191	9,571
為替換算調整勘定	3,818	44,398
持分法適用会社に対する持分相当額	24,066	10,853
その他の包括利益合計	127,963	218,077
四半期包括利益	190,795	663,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,942	640,452
少数株主に係る四半期包括利益	24,853	23,485

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	534,805	724,849
減価償却費	112,607	122,178
持分法による投資損益(は益)	24,958	2,814
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,983	1,167
退職給付引当金の増減額(は減少)	22,132	42,710
その他の引当金の増減額(は減少)	75,753	218,358
受取利息及び受取配当金	89,764	82,937
支払利息	64,072	51,735
為替差損益(は益)	18,244	31,772
売上債権の増減額(は増加)	1,019,510	2,032,466
未成工事支出金等の増減額(は増加)	830,482	780,168
たな卸資産の増減額(は増加)	4,383	17,071
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,521,139	975,800
仕入債務の増減額(は減少)	680,062	5,750,719
未成工事受入金の増減額(は減少)	564,188	3,633,032
その他	862,730	1,344,367
小計	1,949,282	2,396,171
利息及び配当金の受取額	103,019	70,898
利息の支払額	64,072	51,735
法人税等の支払額	44,635	470,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,954,970	2,847,110
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	41,910	134,092
有形固定資産の売却による収入	828	1,318,059
投資有価証券の取得による支出	50,457	5,051
投資有価証券の償還による収入	50,000	-
貸付けによる支出	81,364	30,504
貸付金の回収による収入	4,208	3,706
その他	67,001	94,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	185,696	1,057,294
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,500,000	1,800,000
自己株式の取得による支出	605,509	1,687
配当金の支払額	536,961	496,420
少数株主への配当金の支払額	2,380	2,380
その他	2,400	5,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	352,750	1,294,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,936	22,428
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,805,852	517,994
現金及び現金同等物の期首残高	5,536,811	6,404,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 3,730,959	<sup>1</sup> 5,886,486

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 その他のたな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
材料貯蔵品	46,809千円	44,500千円
商品	8,060	8,808

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料及び手当	624,731千円	604,862千円
賞与引当金繰入額	85,316	77,370
減価償却費	97,519	112,235

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金預金勘定	3,950,765千円	6,197,498千円
預入期間が3か月を超える定期預金	219,806	311,012
現金及び現金同等物	3,730,959	5,886,486

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	539,001	8.0	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第2四半期連結累計期間において、会社法第178条の規定に基づき自己株式10,000千株を消却するとともに、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式3,406千株を新たに取得しています。これらにより資本剰余金が2,339百万円、自己株式が1,734百万円減少しています。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	499,131	8.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)1
	建設事業	ゴルフ場事業	ホテル事業	広告代理店 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	25,597,350	182,617	226,419	667,992	26,674,378	-	26,674,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134	1,177	2,722	33,856	37,889	37,889	-
計	25,597,484	183,794	229,141	701,848	26,712,267	37,889	26,674,378
セグメント利益	356,323	48,868	16,689	21,914	443,794	-	443,794

(注)1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書計上の営業利益と一致しています。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)1
	建設事業	ゴルフ場事業	ホテル事業	広告代理店 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	29,243,383	162,076	309,340	682,447	30,397,246	-	30,397,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	1,003	1,110	28,718	30,886	30,886	-
計	29,243,438	163,079	310,450	711,165	30,428,132	30,886	30,397,246
セグメント利益	522,133	36,133	34,658	17,324	610,248	-	610,248

(注)1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書計上の営業利益と一致しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円49銭	6円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	294,067	422,607
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	294,067	422,607
普通株式の期中平均株式数(千株)	65,520	62,235

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

北野建設株式会社

取締役会 御中

### 監査法人 A & A パートナーズ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 齊藤 浩司

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 村田 征仁

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北野建設株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北野建設株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。